

# そよかぜ

63  
2026/2/1

社会福祉法人長須賀保育園

編集人：広報委員会

発行人：堀口貴宏



**【特別企画】2年目の本音トーク。一步ずつ、理想の自分へ。**

保証者の方へ直接調査に行く時に、もう心臓が口から出そうなくらい緊張した。でも、上司がずっと隣にしてフオローしていくので、誠意を持って向き合えればちゃんと伝わるんだって学んだよ。あの経験以来、確認作業は「これでもか!」ってこういふことを差し確認を徹底している。

● これが目的 単にたいへん  
小高：今ペアを組んでいる先生が、どんなにトラブルが起きたても雰囲気が柔らかくて、そこにいるだけで場が整つような人の。私もいつか、知識や技術だけじゃなくて、存在そのもので子どもたちや同僚に安心感を与える保育士になりたいな。

有できる今の環境にて、本当に助けられているよね

**塚越：**「この先生なら、うちの子を安心して預けられるって、保護者の方からも100%信頼してもらえる存在を、ここにいるみんなで切磋琢磨しながら目指していくね。」

■ 参加者 Second year of service

|        |           |
|--------|-----------|
| ・石川流星  | さとのデイサービス |
| ・白石元起  | 長須賀保育園    |
| ・林愛結   | 長須賀保育園    |
| ・塚越かなめ | ゆりかご保育園   |
| ・小高ひまり | ゆりかご保育園   |
| ・大兼琴実  | うみまち保育園   |
| ・松田俊   | なのはなクラブ   |
| ・村松希美  | さとの保育園    |
| ・粕谷陸翔  | さとの保育園    |
| ・林祐作   | さとの保育園    |



塚越：私は0歳児担任だから、言葉のコミュニケーションが取れない分、まばたき一つ、指先の動き一つを見逃さないようにしている。「お腹が空いたのかな?」「それとも、あっちの玩具が気になってるのかな?」つて、心の中で会話をしながら代弁してあげると、子どもが「伝わった!」っていうパッと明るい顔を見せてくれる。その瞬間、この仕事を選んで本当に良かったなって思うよね。

白石：俺は、「テキパキ」と多角的に動く周りの先生と比べて、「自分はまだ一つのことしか見ていないな」って勝手に自己嫌悪に陥ることがよくあるんだ。でも最近は、人と比べるんじゃなくて「昨日の自分がより、今日何ができるか」を考えるようにしてね。悔しさをバネにするのは得意だからう、少しずつ自分にできることが増やしていくみたい。

田：わかる。自分も学童の仕事が初めてだから、1年目は何かトラブルがあるといっていたし。でも2年目で現場のリーダ的な役割や責任ある業務を任されるようになってからは、「まずは自分で判断してみる」ができた。現場を支えるパートさんたちに、誰か指示を出す難しさも感じていろいろけど、その代わり結果に責任を持つ」という覚悟で、やがて成長を再確認できたのが嬉しかったからだ。

教われたか……。そのおかげで、失敗を怖がるうすに挑戦できるようになつた。だから私も、周りのスタッフがのびのび動けるような声掛けを一番大切にしてゐるんだ。

小高：それ、めちゃくちゃ心強いね！ 最高の先輩。私は、保育の現場つて大人が焦つていると、不思議と子どもたちにもそのピリピリが伝染しちゃうんだなって気づいたの。だから、「どんなに忙しい行事前でも「まずは自分が深呼吸」して、子どもたちの前では常に穏やかでいる」と意識してるかな。大人の余裕が、子どもたちの安心感に直結するんだなつて日々実感してゐるよ。



2年目職員座談会

入職から2年目を迎えた若き職員。保育士、学童指導員、介護職と、それぞれの現場でひたむきに利用者や子どもたちと向き合ってきました。1年目は、右も左も分からず必死に駆け抜ける毎日。そんな「全力の1年間」を乗り越えた今だからこそ見えてきた、自身の成長や仕事のやりがい、そして大切にしている思いがあります。

今回は職種の垣根を越えて集まったメンバーが、等身大の言葉で語る座談会の様子をお届けします。

林祐：松田くん、遅くなつたよね。僕も  
林愛さんと同じで、後輩に伝えていく中で  
「先輩たちが言つていたのは」そういう意味  
だったのか」とつて、今さら気づくことがたく  
さんある（笑）。アウトプットする」とい  
う自分の知識がようやく「知恵」に変わつてき  
た実感があるよね。

一同：（深く頷きながら）「本当にそつだ  
ね、見える景色が変わつたよね」



## 一緒に遊ぼう！ 異年齢児交流

ゆりかご保育園のお友達を招いて、長須賀保育園で交流会を行いました。

園にある月刊絵本を囲み、「これ、なあに？」と身を乗り出すゆりかご保育園のお友達。それに対し、長須賀保育園の年上のお友達がリードして動物の名前を教えるなど、頼もしい姿を見せてくださいました。交流を通して、少しずつ新しい環境への親しみを深めていってほしいと願っています。

4月の入園まで残りわずか。新しい仲間が加わることを、みんな楽しみに待っています！



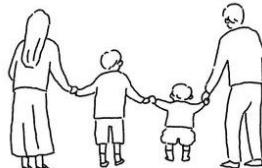
## 1年間ありがとう 世代間交流



さとの保育園の年中・年長組の子どもたちが、さとのデイサービスを訪問し、利用者様と一緒に「忘年会」を楽しみました。

1年を通して、歌のプレゼントや敬老会などで交流を深めてきた年中組。当日は、bingo大会や趣向を凝らしたレクリエーション、そして心のこもったプレゼント交換など、会場は終始あたたかな笑顔に包まれました。

お年寄りとの触れ合いを通して、子どもたちは慈しみの心を育む貴重な経験を重ね、利用者様からも「元気をもらえた」「この1年が本当に楽しかった」と嬉しいお声をいただいています。



## 始まる！ こども誰でも通園制度

### 「こども誰でも通園制度」とは？

「こども誰でも通園制度」とは、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため創設された新たな通園制度です。

対象者は、保育所等に通っていない0歳6ヶ月から満3歳までの子どもで、保護者の就労要件を問わず、月10時間まで保育所等に通うことができます。木更津市でも令和8年度からの事業開始に向けて準備が行われています。

### 利用するとどんな良いことがあるの？

子どもは、「家庭とは異なる経験」や「地域に初めて出て行き家族以外の人と関わる機会」を得ることができます。また、子どもに対する関わりや遊びなどについて、専門的な理解を持つ人がいる場での経験を通し、ものや人への興味や感心が広がり成長に繋がります。

保護者は、子育て支援などの様々な情報を知る機会が増え、「こども誰でも通園制度」以外の支援や制度を受けやすくなります。また、専門的な知識や技術を持つ人と関わることにより、子育てへの不安感を解消することができます。

### 一時預かりと何が違うの？

一時預かり事業が「保護者の立場からの必要性」に対応するものであるのに対し、こども誰でも通園制度は、子どもの育ちを応援するという目的があります。

## 子育て支援センター

イベント 2026/2,3月

### さとの子育て支援センター

#### 2月

- 10日 AM 外で遊ぼう
- 12日 バレンタインイベント
- 17,19日 季節の製作

#### 3月

- 3日 ひなまつりイベント
- 12日 ホワイトデーイベント
- 17日 季節の製作

※外で遊ぼう～ぱくぱくタイム

(3月実施予定)

### うみまち子育て支援センター

#### 2月

- 2,3日 節分製作
- 6,16,24日 AM 園庭遊び
- 12,13日 クッキー作り

#### 3月

- 2,3日 ひなまつり製作
- 5,13,24日 AM 園庭遊び
- 10,11日 季節の製作
- 17日 AM お散歩
- 26,27日 感触遊び

※ホームページ掲載の最新スケジュールをご確認ください。

## 茨城の味を楽しむ 郷土料理フェア



寒さが本格化し、温かいお料理が恋しい季節。今回は茨城の郷土料理「つけんちん」をご用意しました。

全国で親しまれるけんちん汁ですが、茨城では温かなつけ汁として、そばやうどんを浸していただくのが特徴です。副菜にはレンコンのきんぴら、デザートにはマロンケーキを添えて、冬の味覚を堪能していただきました。

ちなみに美味しいレンコンは、穴が小さく皮にハリがあり、ずっしりと重いもの。ぜひ直売所などで探してみてくださいね！

